年内に滋賀工場が稼働

サッシ付きパネルも強化

ナカザワ建販

ナカザワ建販（大阪府和泉市、中澤秀紀社長）は、和歌山県紀の川市内に2カ所のプレカット工場を持ち、月間1万1000坪の加工を行っている。

同社は自社加工能力を上回る受注があり、外部工場に依頼して対応するケースもある。南海トラフ地震などへの備えなどBCP対策を含め滋賀県甲賀市に大型プレカット工場を建設する計画を3年前に発表し、工場建設が進んでいる。

関西と中京地区の中間地点である甲賀市に大型工場を造ることで、関西だけでなく中京圏を視野に入れて事業展開を進めている。

5月には名古屋市中心部（丸の内）に名古屋支店を開設。新工場稼働に向けた体制づくりを進めている。和歌山工場の構造材ラインの更新なども控え、滋賀工場を稼働させることでスムーズな加工体制の移行を進めたい考えだ。

滋賀工場は、年内に機械設備も導入し、試運転を行う計画で、当初は1シフトで月間1500坪程度からスタートする。敷地面積3万6863平方㍍、建屋1万8940平方㍍と大規模な工場で、ラインの拡張性や自動投入、積み取りなど省力化ラインとしていく計画だ。

和歌山工場にはフンデガーのロボットMAXを導入しており、非住宅や登り梁などの加工を始めている。

また、サッシ付きの中型パネルの生産も同工場で始めており、グループのナカザワサッシ加工でのサッシ組み立てからパネル製作までを一連の流れで提供する体制を強化している。

建設中の滋賀工場

2×4CAD入力会社を傘下にし対応力向上

海外CADや積算で

ハウステクノPC

ハウステクノPC（大阪府貝塚市、永田秀俊社長）は、グループ会社のJPCを通じてベトナムの子会社のソンタングループで在来工法住宅のプレカットCAD入力や構造計算、温熱計算などの計算業務を月間13万坪規模で行っている。さらにシー・エス・ランバー（千葉市、中井千代助社長）のベトナムのCAD入力子会社を買収し、2×4工法向けのCAD入力を拡大する。既存の取引先を中心に月間3000坪規模で対応し、業務が軌道に乗ってきた段階で一般物件にも対応していくことで、海外CAD入力事業の幅が広がっていくことが期待される。CADソフトはキャリアネット。図面からの木拾いにも対応する。

同社はこれまで、約20年間にわたりかかわってきた36万棟の木造住宅の設計、入力業務のデータを蓄積しており、こうしたデータを基にAIなどのツールの開発も進めている。このほか、業務規定などをAIに読み込ませ、人事・総務などのQ&Aツール技術に関する問合せ対応ツールの開発を進めている。

非住宅

複雑

ケイ・アー・カキハラ（柿原豊茂社長）は、島本社と大阪支業を行い、2度の構造材加1万4000度比1%減）みとなった。

同社は加工上に努めておプレカットするような手められる複雑も柔軟に対応力が特徴だ。人が2人常駐な時期には地からの応援